

ほけんだより

3

H25.3.5 白岩小保健室



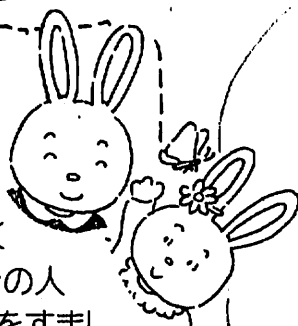
3月3日は、ひなまつり。そして、もう一つ「耳の日」ともいわれています。なぜ、この日が耳の日になったかということ、3・3で「ミミ」というごろ合わせ、サリバン先生がヘレン・ケラーの指導を始めたのが3月3日、電話の発明者ベルの誕生日、ということだからだそうです。そういえば、3という数字に似ていますね。そこで、今回は、耳にちなんだおたよりです。

心に「きく耳」

「みみにたこができる」「みみざわりだ」「みみのいたいはなし」など。私たちがふだん使っている言葉の中には耳に関するものが多いです。これらの言葉の中には、その人の心が感じられます。たとえば、「耳をすましてきく」ということは、体の器官としてだけでなく、すべての神経や精神を集中してきくことです。

耳がどんなによくてもそのすぐれた耳を生かすのは、その人の心です。

器官としての耳を大切にするとともに、心に「きく耳」を育てましょう。

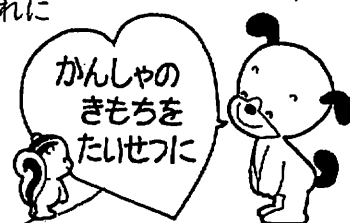


たいせつな ことば

「ありがとう」

3月9日は、3・9(サンキュー)で「ありがとうの日」と言われています。「ありがとう」は、感謝のことばです。美しい日本のことばの一つですね。感謝の気持ちを忘れず、「ありがとう」がいえるといいですね。

3月9日、だれに「ありがとう」をいしましょうか？



耳は大切な情報収集器

耳や目はとても大切な情報収集器です。ところが、耳は目と違って疲れを表に出しません。下のようなことがありましたら、早めに病院へ行きましょう。

